

沖一雄研究室

[アジア環境先進型流域圏の構築と普及]

生産技術研究所 人間・社会系部門

Department of Human and Social System

<http://gmee.iis.u-tokyo.ac.jp>

広域生態環境計測学

工/社会基盤学専攻
農/生物・環境工学専攻

アジア環境先進型流域圏の構築とは？

環境問題と関連してアジア開発途上国の農業は、(1)人口増加にともなう食糧・水需要の増大、(2)地球温暖化による農業生産性の低下、(3)近代農法の普及にともなう環境問題、(4)バイオマスエネルギーに対する需要の増大、の4つの問題に直面している。これらの問題の緩和のためには、アジア開発途上国における在来の品種・栽培法、地域資源の伝統的活用法の中で、有効なものは積極的に活用しながら、気候変動に対応した水・食糧・エネルギーバランスを考慮した環境先進型流域圏の構築および普及が望まれており、先進諸国の中でもとりわけ環境と経済の両立を図りながら持続可能な社会を構築するグリーンイノベーションを推進している我が国が各国と協力して取り組む必要がある。

* 研究室では、「生態系・環境保全型食料生産」を目指し、流域圏の水・食糧生産・エネルギーに焦点をあてた「アジア環境先進型流域圏」の構築を探索する。

研究アプローチ及び成果

研究成果：

- ◆ インドネシア・チタルム川流域圏における水環境評価
- ◆ チタルム川流域圏における2025年と2050年の生産量予測
- ◆ 流域圏の水・食料生産・エネルギー

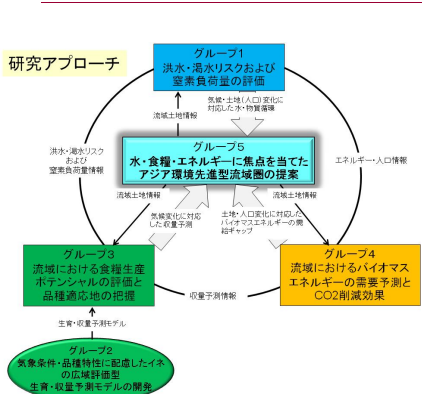


図1. 研究アプローチの概念

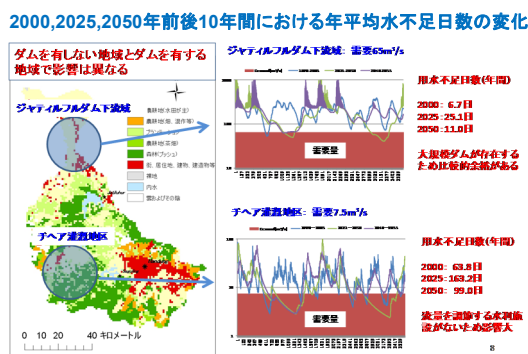
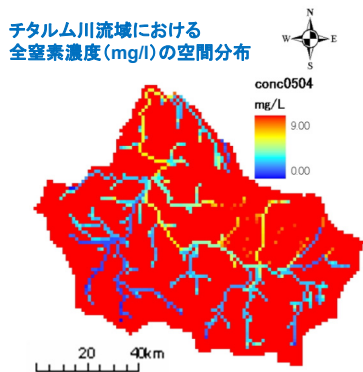


図2. インドネシア・チタルム川流域圏における水環境評価

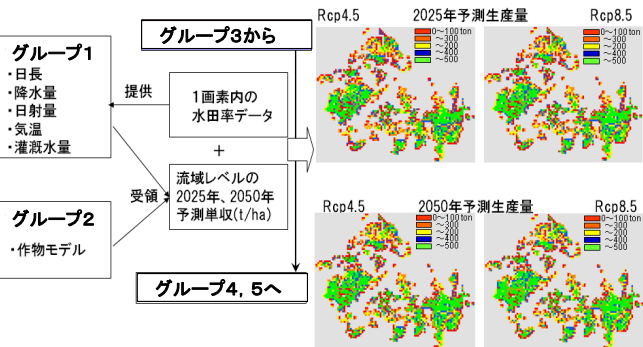


図3. チタルム川流域圏における2025年と2050年の生産量予測



図4. 流域圏の水・食糧生産・エネルギー